

これほど これからは 岡高志

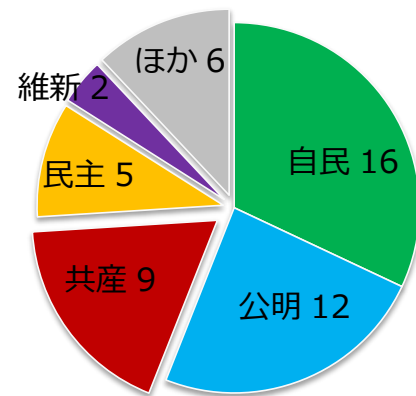
大田区議会議員 岡高志 大田区レポート

区議会議員選挙も終わりました、新たに4年間の任期がスタートいたしました。私にとっては2期目の区議会です。選挙で申し上げた **少子化対策・社会福祉・まちづくり** の政策実現に向かって進んでまいります。

全50議席の会派構成は右の円グラフの通りです。従前と変わらず、自民・公明で過半数を占めて、共産党まで含めた37議席は変わりありません。固定した組織票の存在を感じるところです。

私は、今年度は会派“大田区議会民主党”に所属、政策調査会長に就任しました。固定した組織票のためでなく、このまちに暮らすみんなのための区政を推進してまいります。

常任委員会は昨年度に引き続き都市環境委員会に所属しまして、誇りをもてる便利なまちづくりに努めてまいります。



なんでもご相談ください

Tel 03-6315-6209

oka@okatakashi.net
Facebook okatakashi.oota
Twitter okatakashi_oota

専門家を招いて

法務・会計無料相談会 開催

毎月第2・4水曜日 午後4時～8時
(要予約)

岡高志 (おかたかし) プロフィール

- 2011年より大田区議会議員 (民主党)
- 都市環境委員会 理事
- スポーツ・観光特別委員会 理事
- こども文教委員会 副委員長 など歴任
- 1976年 (昭和51年) 3月生まれ
- 東京大学法学部卒業
- 信託銀行と投資会社に勤務
- 行政書士 社会福祉士
- 妻・子3人の 5人家族

電線地中化

電線や電柱は、街の景観を害しているほか、震災時に道路の通行を妨げるリスクもあり、日常の歩行の妨げになってしまいます。

海外では、道路上に林立する電柱や空を覆う電線の束を見かけることはほとんどありません。ニューヨーク、ロンドン、パリなど欧米の主要都市では第2次世界大戦以前より地中化が標準とされており、また、中国等、アジア各国の都市においても、無電柱化が顕著に進展しています。

一方で、大田区内での電線地中化はほとんど進んでいません。国道・都道の幹線よりも生活道路として区道における電線地中化はより推進するべきだと考えます。

電線地中化については、様々な法規制があります。経産省、国交省がそれぞれ地中の深さを規定しているほか、経産省、総務省がそれぞれ電話線と電流線の離隔距離を規定しています。そうしたこともあってか、1km当たりの敷設コストが欧米で0.8億円であるのに対して、日本は3.5億円と高く（国土技術政策総合研究所調べ）、電線地中化が進みません。

とはいえ、多くの区民の皆様が電線地中化を望んでいますので、私も今までの議会で電線地中化の推進を主張してまいりました。

(2012年第3定例会・第4定例会)

今回 2015年度の補正予算において、

電線地中化の方式検討のための

予算が付きました。

具体的には、羽田のバス通りで電線地中化の手法を検討することになります。

低コスト、かつ、工事影響を抑えて、電線地中化を全区に広がっていただけるように、引き続き議論してまいります。

シニアクラブ

150をこえるシニアクラブが、大田区で活動しています。17,000人以上が活動されていて、23区で最もアクティブです。

2015年度から、「老人クラブ」から「シニアクラブ」に名称変更しまして、元気な高齢者の方のご参加を促進しているところです。

シニアクラブの要件は、町内会を中心に60歳以上の会員が30人以上在籍しており、週1回以上のクラブ活動を行っていること。

助成金が、月額12,000円以上交付されるほか、老人いこいの家を無料で利用することもできます。

とはいえ、65歳以上の高齢者が人口の21%を超えた超高齢社会において、高齢者だけのクラブ活動を特別扱いする必要があるのでしょうか？議論のあるところです。

一方で、行政側が、高齢者に集まっていたいで、共有する課題に対応することもあります。

例えば、介護保険において高齢者への介護予防も重要な政策のひとつです。老後の生活保障として、仕事を見つけることも政策課題です。

大田区でも2012年に「大田区いきいきしごとステーション」(西蒲田7-49-2 TEL: 03-5713-3600)を開設

高齢者の方は、シニアクラブ制度を活用したクラブ活動を検討されてはいかがでしょうか。新規のシニアクラブ設立などお気軽にご相談ください。

大田区議会定例会

第2定例会 6月11日 ～ 22日

第3定例会 9月11日 ～ 10月9日

区議会は区役所10階です。
お気軽に傍聴におこしください。

～ ご意見・ご感想をおよせください～

お名前 男・女 (歳) TEL

ご住所 E-mail

【送信先】 FAX: 03-6315-6209 E-mail: oka@okatakashi.net